

分科会で検討するべき事項

※青字は第1回青果物流通標準化検討会で追加されたもの

I. パレット循環体制

【構成員】

(出荷団体) 全農、日園連、ホクレン、(卸売団体) 全中青協、全青協
(パレットサプライヤー) 日本パレットレンタル、三甲リース、(物流事業者) 全日本トラック協会

1. パレット循環体制構築に向けた現状把握と目標設定

○ J A、卸売市場に対し調査を行う手法等の検討

※ 官民物流懇談会パレット分科会における分野別パレット化率把握の取組と協調

2. パレット循環体制導入に向けた実証を行う品目・地域の選定

① みかん産地へのパレット導入の拡大

② りんご産地へのパレット導入

③ 果樹の複数品目産地へのパレット導入

④ 現在取組を進めている野菜産地での選果場・品目の拡大

3. 転送等を前提としたパレット循環体制ルールの再検討

4. I Tの活用によるパレット循環体制に係るコストダウンの検討・検証

5. パレット循環体制の効果と費用負担のあり方

○ パレット導入によるメリットの整理

Ⅱ．場内物流

【構成員】

(開設者団体) 全中協、(卸売団体) 全中青協、全青協
(仲卸団体) 全青卸連、(物流事業者) 全日本トラック協会

1. 荷下ろしの現状把握と課題整理
2. 場内動線の現状把握と課題整理
3. 場内のパレット、通い容器の保管の状況把握と課題整理
4. トラック予約システムの普及
5. I Tの活用による場内物流合理化の検討・検証
6. 市場施設整備・市場施設使用のあり方
7. 市場外に設置されるストックポイントとの連携

Ⅲ．コード・情報

【構成員】

(出荷団体) 全農、日園連、ホクレン、(卸売団体) 全中青協、全青協
(物流事業者) 全日本トラック協会、(情報) 食流機構、流通経済研究所

1. 生鮮標準コード及び生鮮標準コード体系の活用状況と課題整理
2. 各プレイヤーの用いているコード
3. 送り状、販売原票等の帳票類の現状把握と課題整理

※ 送り状や送り状の項目の統一を優先。

IV. 外装サイズ・外装表示

【構成員】

(出荷団体) 全農、日園連、ホクレン、 (卸売団体) 全中青協、全青協

1. 外装サイズ・外装表示の現状把握と課題整理
2. 外装サイズ標準化に向けた実証を行う品目・地域の選定
3. 外装サイズ・外装表示の標準化と並行して導入するべきロボット等の費用と採算性の検証
4. 高級品等ではない一般的な商品についての等階級等の見直し検討
5. 選果場での対応
6. パレットサイズの標準化を踏まえたトラック車両サイズに関する議論の動向把握